



## X コマンド

---

この章では、コマンド名が X で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

# xml server max-session

実行可能な XML サーバ セッションの数を設定するには、**xml server max-session** コマンドを使用します。セッション数をデフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**xml server max-session** *max-sessions*

**no xml server max-session** *max-sessions*

## 構文の説明

*max-sessions* 実行可能な XML サーバ セッションの最大数。指定できる範囲は 1 ~ 8 です。デフォルトは 8 です。

## デフォルト

実行可能な XML サーバ セッションの数は 8 です。

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザ ロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、実行可能な XML サーバ セッションの数を設定する例を示します。

```
switch(config)# xml server max-session 4
```

次に、実行可能な XML サーバ セッションの数をデフォルトの設定に戻す例を示します。

```
switch(config)# no xml server max-session 4
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show xml server status</b>	XML サーバのステータスに関する情報を表示します。

# xml server terminate session

XML サーバセッションを終了するには、**xml server terminate session** コマンドを使用します。

**xml server terminate session *session\_id***

構文の説明	<i>session_id</i> セッション番号。有効な範囲は 0 ~ 2147483647 です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更箇所	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更箇所				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				
例	次に、XML サーバセッションを終了する例を示します。 <pre>switch(config)# <b>xml server terminate session 3</b></pre>				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td><b>show xml server status</b></td><td>XML サーバのステータスに関する情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	<b>show xml server status</b>	XML サーバのステータスに関する情報を表示します。
コマンド	説明				
<b>show xml server status</b>	XML サーバのステータスに関する情報を表示します。				

# xml server timeout

XML サーバセッション タイムアウトを設定するには、**xml server timeout** コマンドを使用します。タイムアウトをデフォルトにリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**xml server timeout** *timeout* [*session\_id*]

**no xml server timeout** *timeout* [*session\_id*]

## 構文の説明

<i>timeout</i>	秒単位のタイムアウト値です。範囲は 0 ~ 1200 です。デフォルト値は 1200 です。
<i>session_id</i>	(任意) XML サーバセッション番号。有効な範囲は 0 ~ 2147483647 です。

## デフォルト

タイムアウトは 1200 秒です。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

network-admin  
vdc-admin

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

XML サーバ タイムアウトはアクティブ セッションだけに適用できます。  
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、アクティブ セッションの XML サーバ タイムアウトを設定する例を示します。

```
switch(config)# xml server timeout 800
```

次に、タイムアウトをデフォルトに戻す例を示します。

```
switch(config)# no xml server timeout 800
```

# xml server validate

XML ドキュメントを検証するには、**xml server validate** コマンドを使用します。XML ドキュメントの検証をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
xml server validate {all | session_id}
```

```
no xml server validate {all | session_id}
```

## 構文の説明

<b>all</b>	すべてのセッションを検証します。
<i>session_id</i>	セッション番号。有効な範囲は 0 ~ 2147483647 です。

## デフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

任意のコマンドモード

## サポートされるユーザロール

network-admin  
network-operator  
vdc-admin  
vdc-operator

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

検証できるのは、アクティブセッションの XML ドキュメントだけです。  
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、すべてのアクティブセッションの XML ドキュメントを検証する例を示します。

```
switch(config)# xml server validate all
```

次に、すべてのセッションで XML ドキュメントの検証をディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no xml server validate all
```

